

NGSワークフローの品質を決めるサンプル調製 DNA/RNA抽出からサイズセレクションまで徹底解説



日時 2026年 4月 21日 [火] 13:30 ~ 14:00

演者 小野寺 純 ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部
ジェノミクスプロダクトマネジャー

NGS解析における最重要要素のひとつは、**DNA/RNAサンプルの品質**です。分解が進んだサンプルや不純物を多く含むサンプルでは、**PCRやNGSライブラリ調製が不安定**となり、**期待した解析結果を得ることはできません**。

また、近年のNGSワークフローでは、多検体処理や結果の再現性・安定性がこれまで以上に求められています。そのため、「**目的に合ったサンプル調製法の選択**」、「**ハイスループット処理に耐えるワークフロー構築**」は避けて通れない課題となっています。

本セミナーでは、

- 生体サンプルからのDNA/RNA抽出・精製手法を歴史的な経緯も含めて整理
- 現在主流となっている各種技術の特徴・メリット・注意点を概説
- 当社が推進するSPRI磁性ビーズ法の原理と、特長であるDNAサイズセレクションについて解説
- Biomek i-Series（新機種 i3 を含む）による核酸抽出からNGSライブラリ調製までのハイスループット自動化事例をご紹介します

といった内容を通じて、NGS解析の成功に直結する“サンプル調製のベストプラクティス”をご紹介します。
NGS実験の品質向上や効率化に課題をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

視聴登録はこちら

<https://bit.ly/4cSCam4>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。